

**平成 27 年度  
事業報告書**

**西和賀町社会福祉協議会**

# 平成 27 年度 社会福祉法人西和賀町社会福祉協議会事業報告

## 1 法人運営事業

### 《理事会》

	開催 年月日	場所 (出席者数/定数)	内 容
理 事 会	平成 27 年 5 月 26 日	悠々館 (11/12) 佐々木監事 柳 沢監事	1.平成 26 年度西和賀町社協事業報告及び収支決算について 2.西和賀町社協就業規則の一部改正について 3.生活困窮者自立相談支援事業実施業務委託契約について (第 1 次補正予算)
	平成 27 年 9 月 17 日	太田老人 福祉センター (10/12) 佐々木監事 柳 沢監事	1.障害者福祉サービス事業県実地指導結果及び是正改善事項 について 2.育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 3.平成 27 年度社協役職員研修会について
	平成 27 年 12 月 16 日	悠々館 (12/12) 佐々木監事 柳 沢監事	1.平成 27 年度西和賀町社協会計第 2 次補正予算について 2.平成 27 年度西和賀町社会福祉大会の開催について
	平成 28 年 1 月 20 日	悠々館 (11/12) 佐々木監事 柳 沢監事	1.デイサービス入浴介助リフト及び悠々館厨房の食器洗浄機 の更新について
	平成 28 年 3 月 15 日	悠々館 (11/12) 佐々木監事 柳 沢監事	1.平成 27 年度西和賀町社協会計第 3 次予算補正について 2.平成 28 年度西和賀町社協会費額の決定について 3.平成 28 年度西和賀町社協事業計画、予算について 4.任期満了に伴う西和賀町社協評議員の選任について 5.西和賀町心配ごと相談員・生活福祉資金貸付調査委員・ 社協福祉サービス第三者委員の選任について

### 《評議員会》

	開催 年月日	場所 (出席者数/定数)	内 容
評 議 員 会	平成 27 年 5 月 28 日	太田老人 福祉センター (24/30)	1.平成 26 年度西和賀町社協事業報告及び収支決算について 2.生活困窮者自立相談支援事業業務委託にかかる予算補正 について
	平成 27 年 12 月 21 日	太田老人 福祉センター (25/30)	1.平成 27 年度西和賀町社協会計第 2 次補正予算について
	平成 28 年 3 月 17 日	太田老人 福祉センター (26/30)	1.平成 27 年度西和賀町社協会計第 3 次予算補正について 2.平成 28 年度西和賀町社協会費額の決定について 3.平成 28 年度西和賀町社協事業計画、予算について

## 《監事会》

	開催年月日	場所 (出席者数/定数)	内 容
監 事 会	平成 27 年 5 月 19 日	社協本部 (2/2)	1.平成 26 年度社協事業報告・決算監査
	平成 27 年 7 月 31 日	社協本部 (2/2)	1.出納調査第 1 四半期)
	平成 27 年 10 月 27 日	社協本部 (2/2)	1.中間監査
	平成 28 年 1 月 28 日	社協本部 (2/2)	1.出納調査(第 3 四半期)

## 《生活福祉資金貸付調査委員会》

	開催年月日	場所 (出席者数/定数)	内 容
	平成 27 年 7 月 28 日	沢内庁舎 2 階 会議室 (5/6)	1 償還金猶予申請について 2 償還指導について 3 貸付状況について

## [役職員研修会]

	開催年月日	場 所(参加者数)	内 容
役 職 員 研 修 会 の 開 催	平成 27 年 6 月 2 日	北上市 ホテル シティプラザ 役職員 12 名	広域社協総会 地域福祉推進のための意見交換会
	平成 27 年 7 月 23 日	ホテルルイズ 役員 1 名	市町村社会福祉協議会会長懇談会 各市町村社協の目指す方向性と 27 年度の重点的な取り組み 各市町村の地域課題と各市町村社協における事業・組織等の課題
	平成 27 年 9 月 11 日	ホテルニューカ リーナ 事務局長	岩手県と市町村社会福祉協議会部会との懇談会 市町村社会福祉協議会が抱える課題について 要望事項について
	平成 27 年 10 月 13 日 ～14 日	福島県奥会津 方面 役員・職員 15 名	町社協役職員研修会 テーマ“過疎・人口減 条件不利地の町おこしを探る”
	平成 27 年 11 月 11 日	岩手県民会館 役職員 12 名	第 68 回岩手県社会福祉大会 講演「クラウンが語る～みんなの笑顔のために今、私にできること」 NPO 日本ホスピタルクラウン協会理事長 大棟 耕介氏
	平成 27 年 12 月 8 日～ 9 日	ホテルルイズ 事務局長	市町村社会福祉協議会トップセミナー 災害公営住宅等への転居時期における課題と対応 シンポジウム 社会福祉法の一部改正による財務規律の強化等について 他
	平成 27 年 12 月 11 日	ふれあいランド 岩手 事務局長	若手職員の力を引き出すコーチングスキルについて 採用力を身につける原理原則と福祉業界の現状

平成 28 年 1 月 20 日	銀河ホール 役職員 20 名	式典 基調講演 テーマ「健康な人づくり町づくり」 講師 ジャーナリスト 武野 武治 氏
平成 28 年 2 月 12 日	南郷温泉 「共林荘」 役職員 14 名	平成 27 年度 広域社協役職員研修会 テーマ 「草刈・雪かき賃金 1 割…地域通貨で商店を守る」 ～住民自らが地域の生活基盤を守る活動実践を知る～ 講師 南郷共助組合 組合長 高橋 徳保 氏
平成 28 年 3 月 5 日	日本現代詩歌文学館 役職員 4 名	「話を『聴く』ということ～傾聴ボランティアや福祉活動に活かす」 盛岡大学文学部児童教育学科 教授 春日 菜穂美 氏 事例発表

## 2 介護保険サービス事業

事業名	事業内容	事業実績
介護保険訪問介護	介護保険認定者への派遣サービス 身体介護 家事援助	延べ利用者数 3,742 人 (月平均 311.8 人) 内訳 要介護 3,108 人 要支援 634 人 H26 年度 4,126 人 (月平均 343.8 人)
介護保険通所介護	介護保険認定者対象の通所介護	延べ利用者数 8,941 人 (月平均 745.1 人) 内訳 要介護 7,128 人 要支援 1,813 人 H26 年度 8,541 人 (月平均 711.8 人)
訪問入浴介護	移動入浴車による訪問入浴介護	延べ利用者数 339 人 (月平均 28.3 人) H26 年度 334 人 (月平均 27.8 人)
居宅介護支援事業	介護保険サービス利用にかかるケアプラン作成	延べ利用者数 1,756 人 (月平均 146.3 人) 内訳 要介護 1,204 人 要支援 552 人 H26 年度 1,573 人 (月平均 131.1 人)

## 3 在宅福祉サービス事業

事業名	事業内容	事業実績
生活支援ホームヘルプサービス事業 (障害者自立支援制度)	知的障害・精神障害の方々を対象に、身体上又は精神上の障害のため日常生活を営むのに支障がある障害者の家庭を訪問し日常生活の援助を行う	年間利用人員 5 人 (知的 3 人、精神 2 人 身体 0 人) 延べ利用回数 294 回
介護用品の普及斡旋	寝たきりの高齢者、認知性老人・身体障害者の方々への介護用品紹介、新製品の普及、介護ベッド、歩行器、おむつカバー、杖などを斡旋した。	社協で斡旋した介護用品 紙おむつ、尿とりパット・エアマット・杖・歩行器具ほか
生活支援ハウス	居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、在宅一人暮らし高齢者等安心して明るい生活を送れるよう支援した。	生活支援ハウスの運営 利用実人数 16 名 利用居室数 16 部屋 平成 27 年 11 月 7 日～
まごころ宅急便事業	交通手段をもち買物等で不便を感じているの方々を対象に、必要に応じて電話にて社協へ注文し、スーパーオセンからヤマト運輸が個別宅に配達する買物支援の仕組み	平成 27 年度 登録利用者数 27 名

まごころリコール宅 急便	ヤマト運輸のドライバーが高齢者のお宅を訪問し、企業が出しているリコール製品がないか確認する。あわせて、困りごとがないかを聞き取り、社協に報告してもらう。	平成 27 年 11 月 14 日から調査 ポータブルトイレについてリコール リコール 0 件 気になった件 15 件 報告
いわてお元気見守り システム	登録いただいている独居高齢者等が毎日、自宅から自発的に電話することにより、折り返しかかってくる音声案内に回答する見守りシステム	平成 27 年度 登録利用者数 16 名 実質稼働者数 5 名
新たな見守りシステム 絆-ONE 実 証試験	国のモデル事業として採択を得て実証実験を行ってきたが、平成 26 年度からは利用料を利用者から徴収し、財源的裏付けを確保し、安定した事業提供が行えるようになった。	平成 27 年度 設置利用者数 38 名

#### 4 住民参加の地域福祉活動

事業名	事業内容	事業実績
平成 27 年度西和賀町社会福祉大会	疲弊した地方の地域づくりはどうあればいいのかを考え、そのために高齢者も含めた地域住民の活動のあり方、必要なもの、何ができるのか考える機会とした。	平成 28 年 1 月 20 日(水)『銀河ホール』 式典 基調講演 テーマ「健康な人づくり町づくり」 講師 ジャーナリスト 武野 武治 氏 ジャーナリストとして見つめてきた戦後から今日までの社会状況、住民主体の活動実践等を伺い、今後の地域再生模索を行った。
第 10 回西和賀福祉まつり	町内福祉活動の紹介並びに障がい者も含め、誰でも企画・参加できる事業。農業まつりとの共催として開催した。	平成 27 年 10 月 25 日 (日) JAいわて花巻西和賀団地センター 作品展示・、模擬店、バザー、フリーマーケット、福祉活動の啓蒙やステージ部門 中高生のボランティア 23 名、福祉バンクにも参加いただいた。
歳末チャリティショーの開催協力	歳末たすけあい運動の一環として、町民総参加のイベント。 12 月 6 日 (日) 銀河ホールで開催。	チャリティ収益金総額 320,400 円 歳末たすけあい募金へ 300,000 円
共同募金運動の展開	民間社会福祉施設、事業への配分を行う、赤い羽根共同募金運動を全国運動に呼応して行った。	10 月 1 日～12 月 31 日
地域に関する情報提供・連絡調整・調査	在宅福祉に関する情報やニーズ調査、名簿等を整備し民生委員、警察、消防等情報共有。4/1 と 10/1 で調査。福祉的な相談に対して公的機関との連絡・調整を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり暮らし高齢者名簿</li> <li>・高齢者夫婦世帯名簿</li> <li>・日中一人暮らし高齢者</li> <li>・除雪必要世帯調査</li> <li>・認知症等見守りの必要な方々の実態把握</li> <li>・自立歩行困難者名簿</li> <li>・災害時等要援護者支援名簿整備</li> </ul>

## 5 高齢者福祉の推進

事業名	事業内容	事業実績
健康づくり事業への開催・支援	老人クラブを中心に健康づくりのためのスポーツ大会等の開催・支援	北上地区シルバースポーツ大会 7月9日 岩手県シルバースポーツ大会 9月12日
花いっぱい推進事業	花咲じーばーず西和賀	高齢者パワーアップ支援事業として、花苗を6,000本栽培し、販売するとともに町内の保育園・小中学校・高校に寄贈した。
ひとり暮らし高齢者世帯・寝たきり高齢者等への電気器具・照明器具の点検・清掃	東北電力の協力を得て、電気、照明器具の点検・清掃を行なった。	電気、照明器具の点検・清掃：東北電力 10月15日 18世帯（川尻一区・川尻二区上野々・小繋沢地区対象）
各種実習の受入れ	・訪問介護員養成研修2級課程 ・ソーシャルワーク現場実習	7月下旬～10月中旬迄 西和賀高等学校、岩手県立大学から受入れ、実習支援を行なう。

## 6 障害者福祉の推進

事業名	事業内容	事業実績
視力障害者のための声の広報活動	目の見えない方やねたきりの方に町や社協等が発行する広報紙をカセットテープに録音し、郵送しているボランティア活動。	ボランティア「こだま」による「広報にしわが」の録音 月1回 録音ボラ13人（西和賀高校も協力） サービス利用者 6人 延べ61人
知的障害者支援事業	北上和賀広域地区で開催され知的障害者の運動会、地域推進事業、育成会事業などへの支援。	9月12日 北上・和賀地区ふれあい運動会（藤根 多目的グラウンド）
福祉団体の育成・支援 （障害者の社会参加促進推進）	老人クラブ連合会事務局 身体障害者協会事務局 母子・寡婦福祉協会事務局	各団体事務局として、団体の事業運営等に支援した。

## 7 福祉教育・児童福祉の推進

事業名	事業内容	事業実績
地域で育む福祉教育推進事業	岩手県社会福祉協議会からの補助金を得て、地域と学校との連携強化を図る。	福祉教育推進委員会の設立・開催 年2回 5月29日・7月8日 地域で育む福祉推進セミナーへの参加 町内各種行事への児童・生徒の参加
西和賀町学童クラブの開設	町からの委託を受けて、西和賀町学童クラブ（湯田圏域：ドラエモンポケット 沢内圏域：沢内学童クラブ）を行なった。	開設日数 湯田 289日 沢内 288日 湯田圏域登録利用者数 23人 沢内圏域登録利用者数 30人 （長期休業利用含む） 湯田圏域延べ利用者数 2,398人 沢内圏域延べ利用者数 2,658人 沢内小学校・湯田小学校隣接地で開所 学童クラブ保護者会（湯田3回、沢内2回）

作文集の発行	小中高の児童生徒が、家族や地域での活動で作文し、ふれあいある豊かな地域づくりをねらいとして作文コンクールを開催し、文集を発行した。町民に広く知らせるため、優秀作品を作者に朗読してもらい、告知端末で発表するよう進めた。	作文集「ふれあい」を発行し、各学校・関係機関に配布した。 小学校低学年・中学年・高学年、中学校、高等学校の5部門において最優秀1点、優秀2点の顕彰を行った。
ボランティア学習の実施	町内の小学校でキャップハンディ体の学習会を実施した。	7月6日 沢内小学校4年生 22人 9月30日 湯田小学校4年生 15人 サポーターへの講習も実施した。
子育てサロンの実施	未就園児童と母親が一同に会して、育児の悩みの共有や仲間づくりを図った。	開催回数 12回(4月～3月) 開催場所 太田さわやか会館・悠々館ほか 参加者 延99人 (協力スタッフ:民協・母子協他=26人)

## 8 ボランティア活動の推進

事業名	事業内容	事業実績
ボランティアグループの育成・支援	ボランティアグループの育成支援と活動環境整備の実施。	ボランティア団体数 17グループ ボランティア登録者数 2,339名
ボランティアセンター事業	ボランティアに関わる相談・登録・斡旋と共に、情報提供と活動支援を図る。	・スノーバスターズ新規会員募集及び町外助っ人ボランティア等への呼びかけ ・見守りボランティアの登録、活動斡旋。 福祉施設への斡旋などを実施する。 ・ボランティア保険の斡旋、手続代行 ・100km マラソンボラ協力への調整 ・ボランティア体験 in いわてへの参加
スノーバスターズ活動への支援	一人暮らしや身体障害者世帯など雪に困っている世帯を訪問し、雪かきや声かけ活動をするボランティア団体を支援する(事務局)	町内を22班に分けて活動 平成27年度会員数337人(一般130・中学生101・高校生100) 平成27年度対象世帯101世帯 出動式1月9日(土)志賀来ドーム 町外から活動支援を受け入れ、利用者、各団体と連携のもとに活動日を設定し実施した。 町外から助っ人ボラ13団体297人来町  北上地区建設協議会から10万円寄付 統一活動 1月9日(日)2月7日(日) 3月6日(日)
ハウスヘルパー活動への支援	一人暮らしや身体障害者世帯など冬期間における住宅損壊の修復、冬期間に向けての住宅補修を行った。	平成27年度会員数12名 平成27年度実施状況 5月1日～5月31日 統一活動 30件 11月1日～11月15日 統一活動 31件 10月25 日福祉まつり=刃物研ぎ/13,800円
ボランティアへの参加を啓発する活動	広報紙やチラシ及びインターネットのホームページなどで広く呼び掛けた。(雪かき助っ人ボラ)	広報紙「福祉だより」 スノーバスターズ会員募集チラシ マスコミ等のホームページを活用・発信

ボランティアの研修について	第 30 回北上和賀地区ボランティアの集い 北上市総合福祉センター 会長・職員 4 名 参加 ボランティア 21 名参加	平成 28 年 3 月 5 日 (土) 「話を『聴く』ということ～傾聴ボランティアや福祉活動に活かす」 盛岡大学文学部児童教育学科 教授 春日 菜穂美 氏 事例発表 傾聴Vおうしゅう 会長 岩城千代美氏 おうしゅう 事務局 菅野 政子氏 きたかみ 会長 清水上 裕氏
---------------	---	--

## 9 共に支えあう町づくり(ネットワーク活動)の推進

事業名	事業内容	事業実績
ひとり暮らし高齢者等の有料除雪支援組織への協力	町で実施している有料除雪制度(除雪業者斡旋)の紹介などを行う。	雪かきボランティア「スノーバスターズ」活動だけでは対応できない場合など制度の紹介をしている。 除雪 110 番・福祉除雪
ひとり暮らし高齢者の情報把握、連絡先などのリスト整備	ひとり暮らしの高齢者の方々が病気になったり死亡した場合に緊急に身内(子供など)に連絡できるように連絡先などのリストを整備し情報提供する。	連絡先リストの整備など民生委員と連携して進めた。高齢者等要援護者のリストを整備し、地図情報におとした。
ひとり暮らし高齢者の生きがい交流会支援	ひとり暮らし高齢者交流会を開催した。	「ひとり暮らし交流会」 合計 164 人参加 第 1 回 6 月 26 日 ふるさと村 35 人 第 2 回 10 月 7 日 湯本公民館 43 人 第 3 回 12 月 25 日 沢内パーテーション 40 人 第 4 回 3 月 16 日 悠々館 46 人

## 10 在宅介護者(障害者)支援事業の実施

事業名	事業内容	事業実績
地域包括支援センター支所(ブランチ)	在宅の高齢者にかかわる相談、介護用品の紹介、介護予防事業を実施	平成 27 年度支所での相談件数 110 件 包括ケア会議(5 回開催)
日常生活支援事業(権利擁護事業)	在宅の高齢者や障害者の申請事務代行及び金銭管理について、援助し権利侵害がなされないよう支援する。	知的障害者(8 名)・精神障害者(1 名)・高齢者(3 名)と契約を締結し、金銭管理及び日常的な生活支援を生活支援員と協力して行った。 生活支援員: 4 名配置
市民後見推進事業	一般町民を対象に市民後見人養成フォローアップ講座を開催した。 西和賀町市民後見推進事業体制整備検討委員会の設置 今後の組織構築のため先進地視察研修の実施 受任件数 3 件(後見 2 件、保佐 1 件)	フォローアップ講座の開催 平成 28 年 2 月 7 日・3 月 6 日の 2 日間 受講修了者数 25 名 市民後見推進事業体制整備検討委員会を開催した。平成 27 年 8 月 19 日・12 月 14 日 平成 28 年 3 月 25 日

## 1.1 低所得者福祉に関する事業

事業名	事業内容	事業実績
まごころ銀行の設置運営	当面の生活費、医療費など一時的な出費に対し 5 万円以内(特別な場合 20 万円以内)で貸す制度 貸付限度額 5 万円(20 万円)以内 償還期限 1 年以内 貸付利子無利子 保証人 必要なし ただし 5 万円を超える場合は連帯保証人 1 名必要	PR チラシ発行 平成 27 年度 貸付 11 件 650,000 円 平成 27 年度 償還 51 件 735,000 円  未償還金総額 11 件 495,000 円 内 本部扱い 5 件 255,000 円 悠々館扱い 6 件 240,000 円
生活福祉資金の有効活用による更生指導、自立援助	低所得世帯等に資金を貸し、経済援助と民生委員による生活指導を行う。(県社協からの委託事業)	平成 27 年度相談件数 35 件 申請件数 5 件 (却下 0 件)
西和賀町歳末たすけあい募金の適正配分	歳末たすけあい募金「明るい正月を迎えよう」として共募が集金し、社協が対象者に配分している。	募金総額 1,385,200 円 生活困窮世帯配分 43 世帯 516,000 円 母子・父子世帯配分 29 世帯 145,000 円 在宅介護障害者配分 78 世帯 390,000 円  在宅福祉事業配分 3 事業 170,000 円 事務費 70,000 円 配分残余金(県共募送付) 94,200 円
低所得世帯の生活相談・援助	西和賀町まごころ銀行と生活福祉資金利用者に対し、相談・援助を行う。	低所得世帯への指導・援助は民生委員を中心に必要の都度行った。

## 1.2 福祉関係団体との連携

事業名	事業内容	事業実績
町民生児童委員協議会との活動連携協力	ネットワーク活動の推進、要援護者への支援、各種調査、行事への参加の取りまとめなど、地域の民生委員との連携協力が不可欠であり、多大な支援、協力を得ている。	定例民協への参加：毎月 1 回 生活福祉資金、まごころ銀行の貸し付け、償還指導など協力を得ている。ネットワーク活動への参加。
北上・和賀地区広域社協との活動連携	広域社協としての事業が増えており、連携して取り組んだ。	・北上市・西和賀町民生委員児童委員研修会 ・役職員合同研修会 ・北上・和賀地区ボランティアの集い
福祉行政及び各種委員会との連携、協力	社協運営と行政(福祉・教育)とが連携を密にした。	・学校保健会委員 ・行政改革審議会委員 ・町基本計画審議会委員 ・西和賀高校教育振興会 ・町営住宅入居選考委員会 ・包括支援センター運営協議会委員 ・地域演劇祭実行委員 ・西和賀町保健調査会委員
町内外各団体等との連携	町内外にある社会福祉法人等との連携を密にした。	・社会福祉法人光寿会評議員 ・社会福祉法人潤沢会理事・評議員 ・包括支援センター地域ケア会議委員

### 13 広報など福祉意識の啓発、普及活動

事業名	事業内容	事業実績
福祉だより編集発行	福祉だより（社協広報紙）を発行全戸配布し社協事業や制度のPRを行っている。	年6回発行
各種チラシの発行	スノーバスターズたより等々の発行及び社協ホームページの開設により社協の多様な情報を発信した。	適宜

### 14 心配ごと相談所事業

事業名	事業内容	事業実績
心配ごと相談所（常設・定例相談所の開設）	心配ごと相談所の定例相談日の開設（毎週木曜日）と常設相談社協の広報や町の広報、お知らせ版でお知らせした。	定例相談日として広報している。（社協事務局対応）
専門相談の実施	定期的に専門相談を開催	法律相談 弁護士相談 2ヶ月に1回2ヶ所で開設 人権・行政相談 人権相談週間・行政相談週間にあわせ専門相談員を配置した。 （人権擁護員・行政相談員）